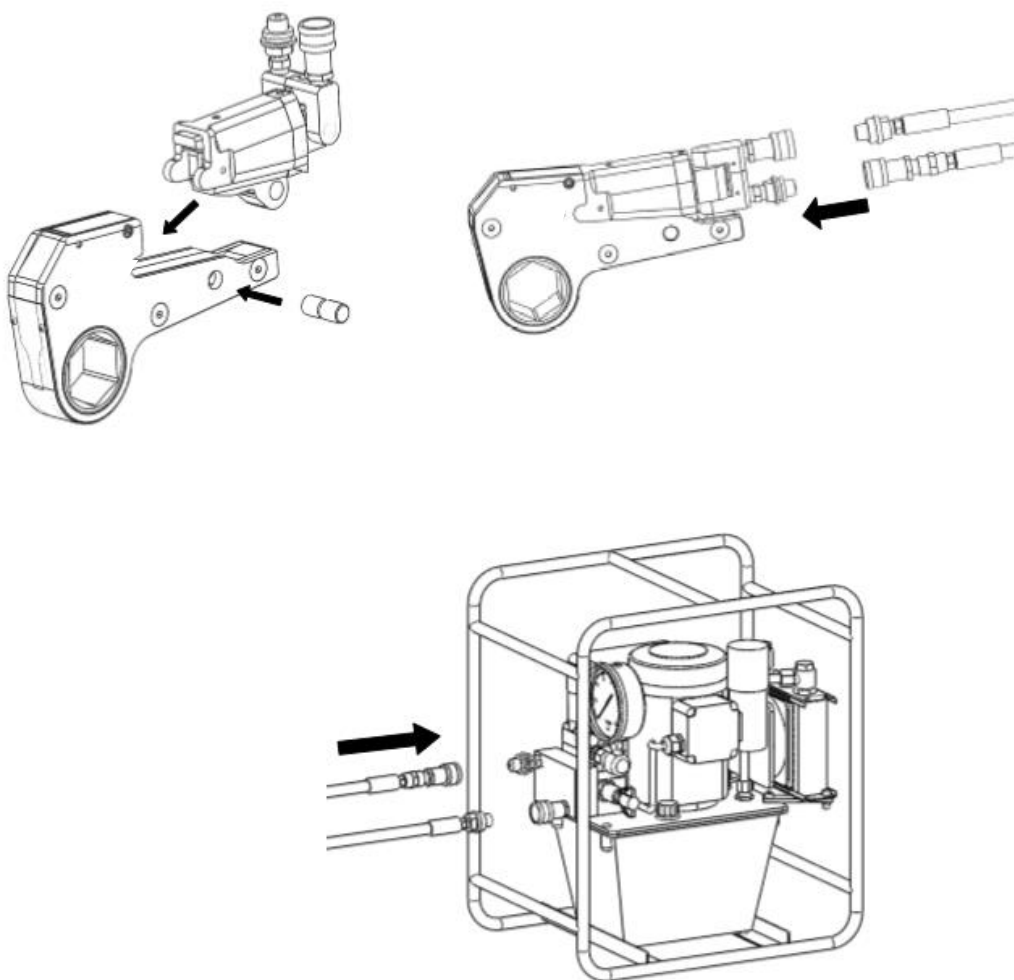


油圧トルクレンチ(メガネタイプ) 取扱説明書

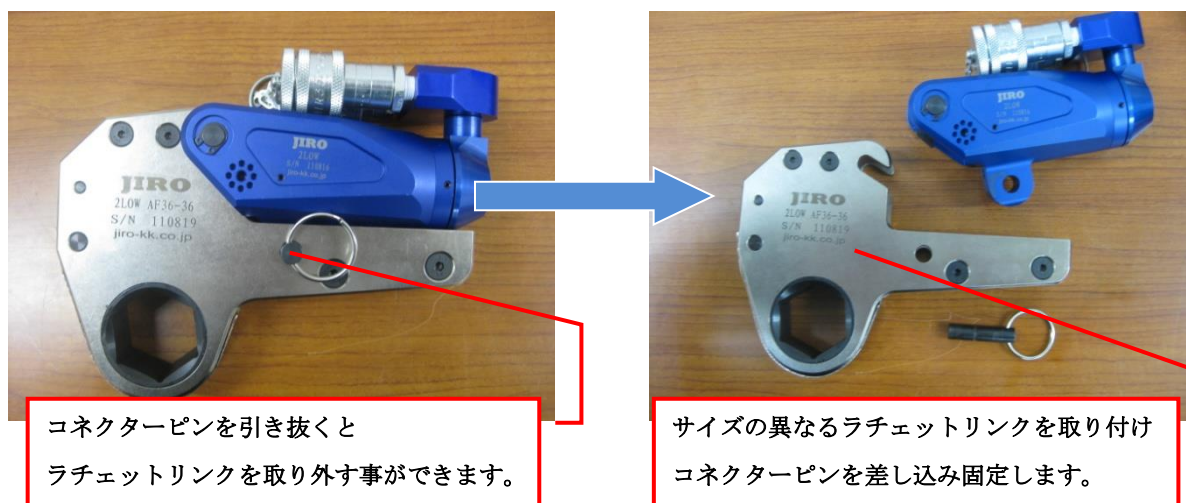


1 作業手順【締付作業】

- 油圧レンチ及びラチェットリンク、油圧ホースを接続してください。



- ラチェットリンクの交換方法



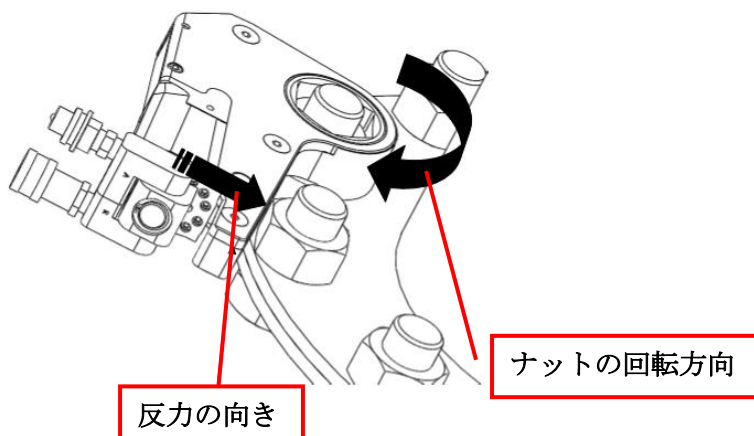
《注意事項》

※内部のピストンロッドが出ているとラチェットリンクが引っ掛かり外せない場合があります。

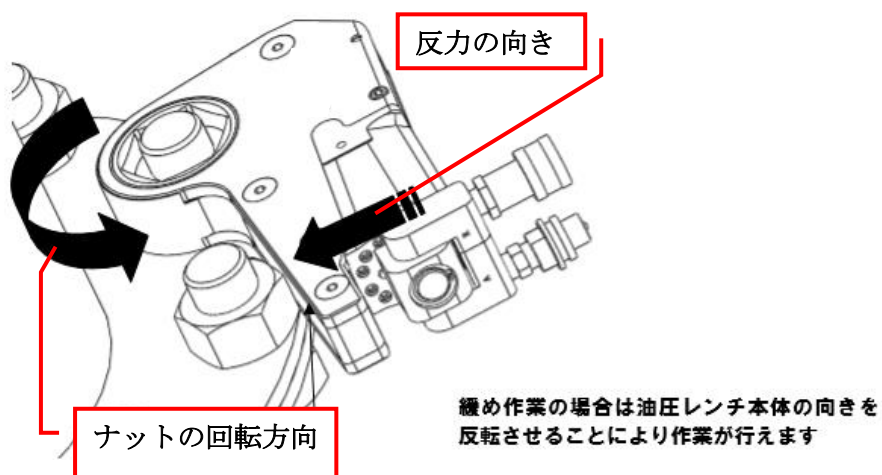
外せない場合は全て繋いだ状態で電動ポンプの電源を入れるとピストンロッドが戻り外せるようになります。

※外したカブラキャップやコネクターピンが紛失しないようご注意ください。

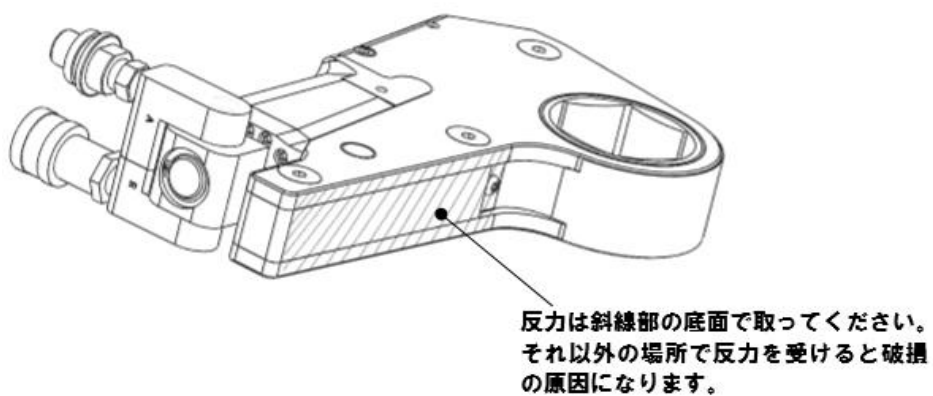
● 締め時の反力の取り方



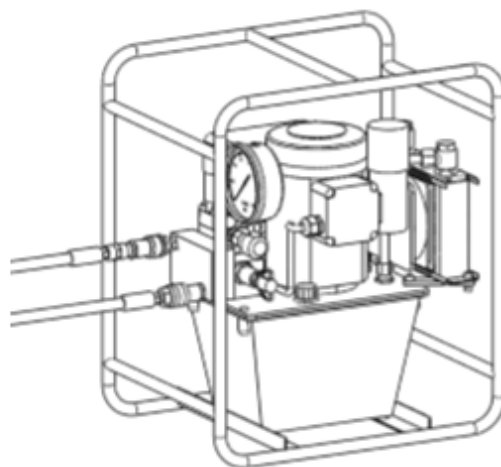
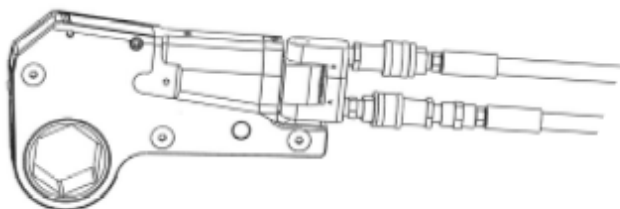
● 緩め時の反力の取り方



● 反力を受ける部分



- それぞれが確實に取り付けられたかを確認してください。



【注意】

- 油圧ホースが確實に接続されていないと圧力が上がらない場合があります。
また重大な事故を招く原因となります。
必ず確認をしてください。

- トルク換算表及び試験成績書より設定圧力を確認してください。

BESTMA®

油圧トルクレンチ 2 LOW (AF19~55)

本体型式

圧力(Mpa)/トルク(Nm)換算表	
圧力	トルク(Nm)
0	0
2	67
4	133
6	200
8	266
10	333
12	399
14	466
16	532
18	599
20	665
22	732
24	798
26	865
28	931
30	998
32	1064

例:800N・mで締めたい場合。

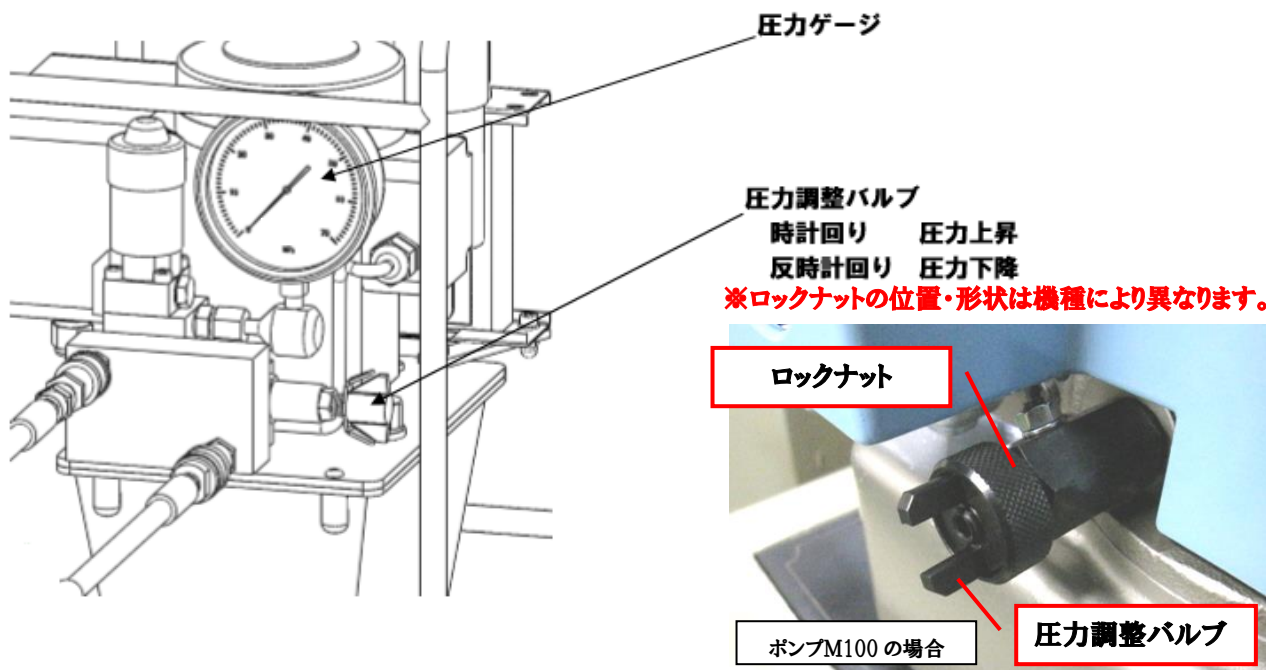
換算表の中で最も近い数値が

圧力:24Mpa トルク:798N・mです。

よって設定圧力は24Mpaとなります。

※本体型式により換算表はそれぞれ異なるので注意!

- 油圧ポンプの動力源（電気及びエア）を接続し油圧ポンプの圧力を設定します。



M100

DYNAMIC



リモコンスイッチ

電源ボタン

油圧ポンプのモーターON・OFF

(DYNAMICの場合は緑モーターON、赤モーターOFF)

動作ボタン

油圧レンチの作動・停止

(DYNAMICの場合は緑ボタン)

《設定方法》

- ・圧力調整バルブのロックナットを緩めます。
- ・リモコンスイッチの電源ボタンを押しポンプのモーターON。
- ・動作ボタンを押し続けながら圧力調整バルブを時計回りに回すと圧力ゲージの圧が上昇するので設定圧力になるように調節します。
- ・圧力ゲージを設定圧力に調節出来たらロックナットを締めます。
- ・その後 動作ボタンを2~3回押し圧力ゲージの針が停滞する事無く設定圧力に到達するか、設定圧力以上の圧がかからないかを確認。
- ・問題がなければ設定完了。



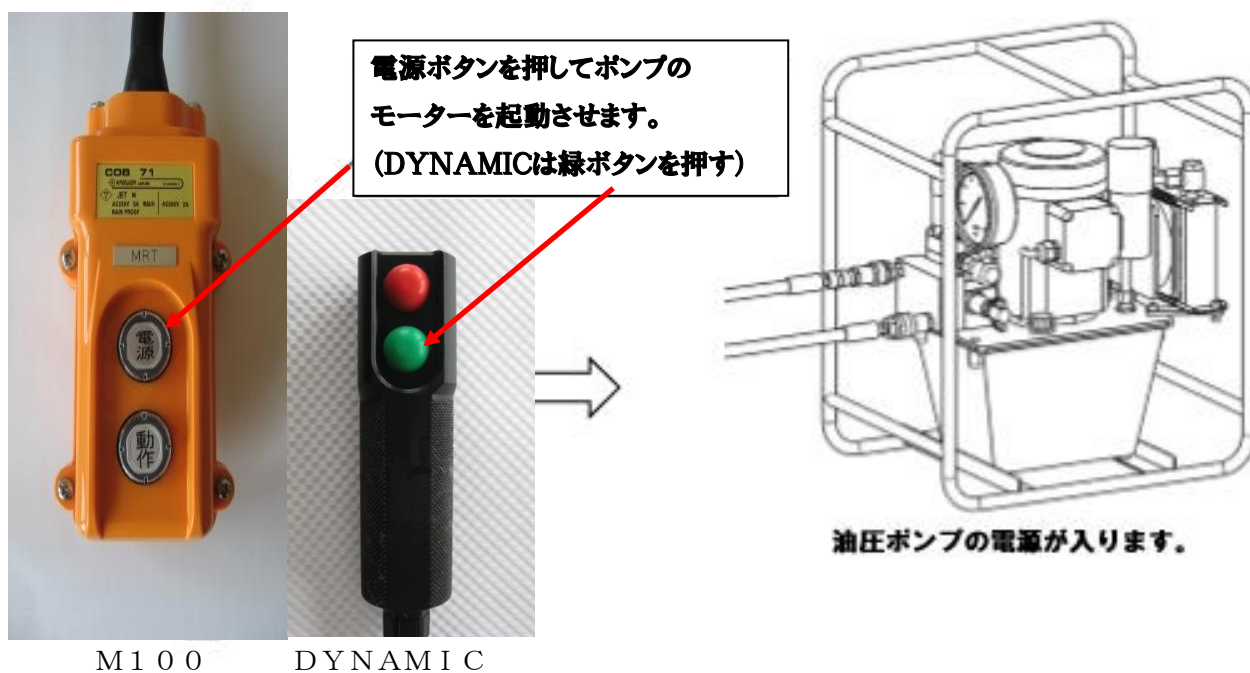
【注意】

圧力調整バルブを反時計回りに回して圧力下げながら設定はできません。
必ず時計回りの圧力を上昇させながら設定してください。

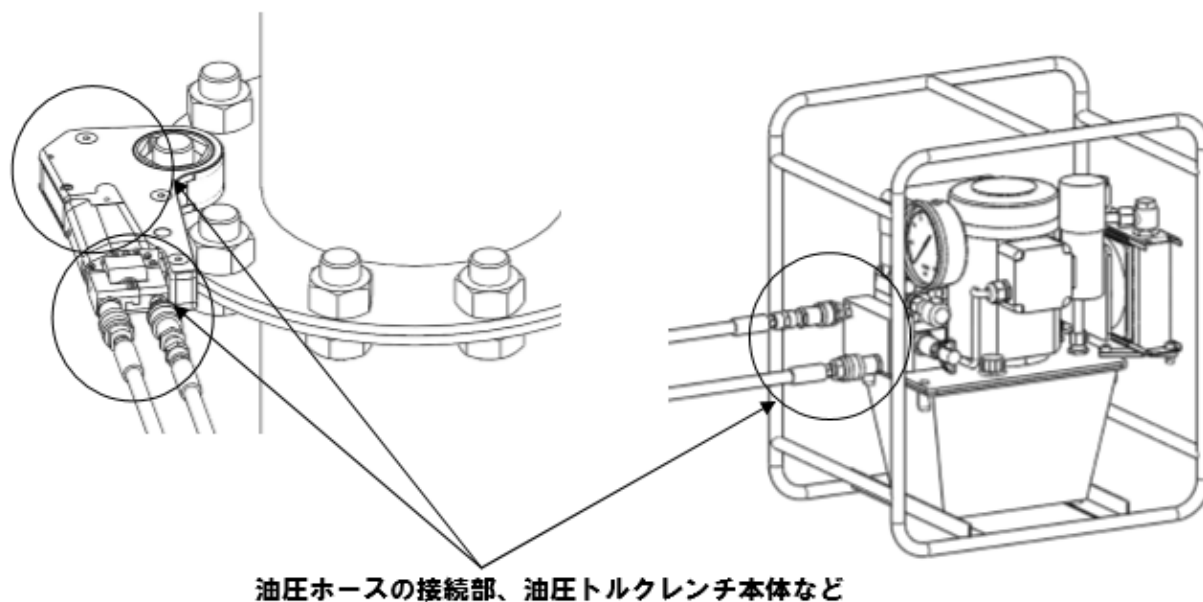
《注意事項》

- ※圧力設定は必ず無負荷状態で行ってください。
- ※ポンプの機種により設定方法は多少異なります。
- ※機種によりリモコンスイッチの仕様も異なる場合があります。
- ※圧力を下げる場合は必ず電源を切り 圧力調整バルブを反時計回りに回してください。

- コントローラーの操作で油圧ポンプの電源をいれます。




- 油圧トルクレンチや油圧ポンプ、油圧ホースなどから油漏れがないか確認をします。



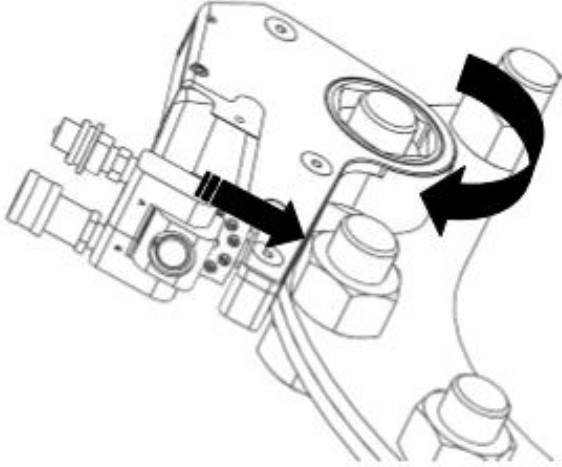
- ボルト・ナット作業（締付け）を行います。

操作①

動作ボタンを押し続けます。
DYNAMICの場合は緑ボタンを押し続けます。



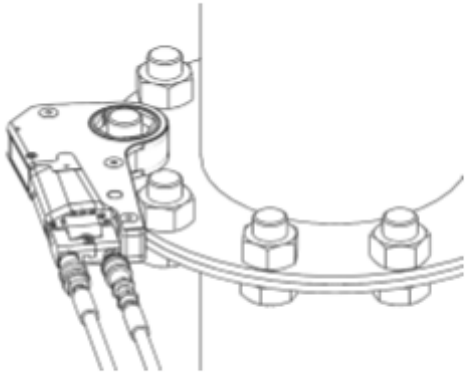
M100 DYNAMIC



反力が当たりヘックスラレットが回転します。


M100 DYNAMIC

ヘックスラレットの回転が止まります。



操作②

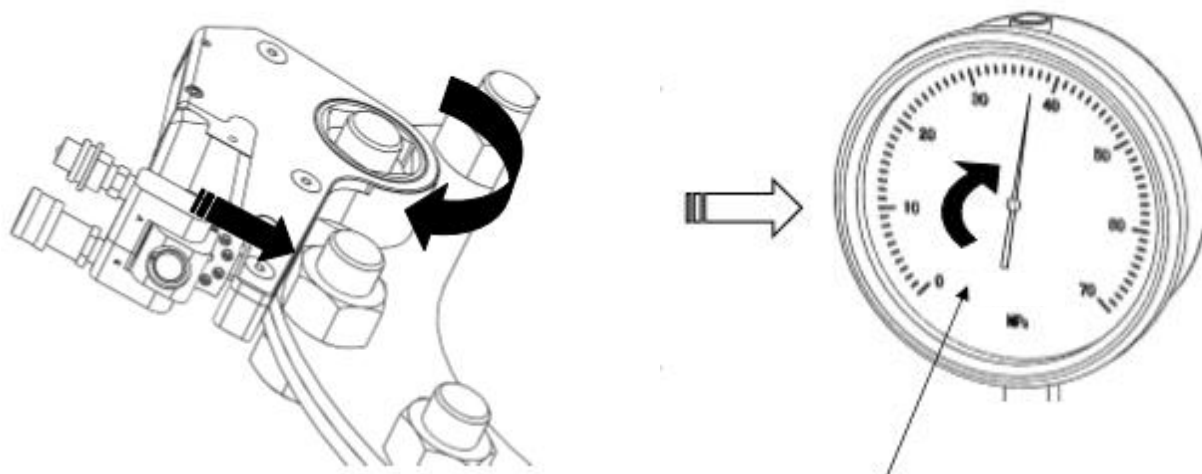
動作ボタンを離します。



M100 DYNAMIC

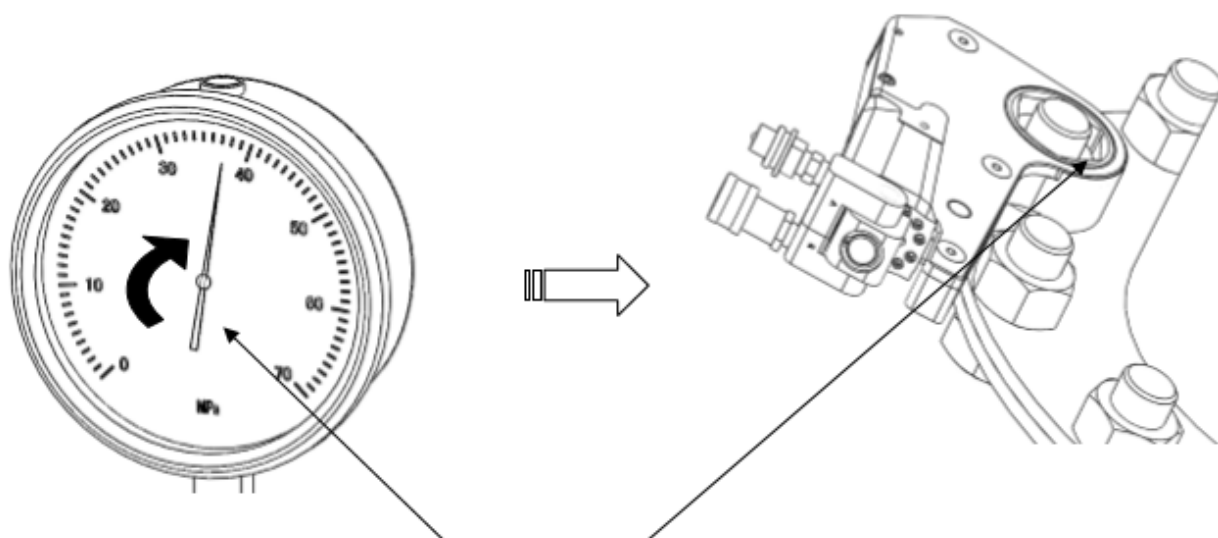
- 操作①②をヘックスラレットの回転が止まるまで繰り返してください。

- 締め付けが増してくると圧力が上昇します。



ヘックスラチェットの回転スピードが遅くなり、それにもない圧力が上昇します。

- ナットの締め付けが完了したことを確認します。



設定圧力まで上昇するがヘックスラチェットは回らない。

締め付け完了

5.1 作業手順【締め付け作業】に従い次の
ボルト・ナット作業を行ってください。

- コントローラーの操作で油圧ポンプの電源を切ります。



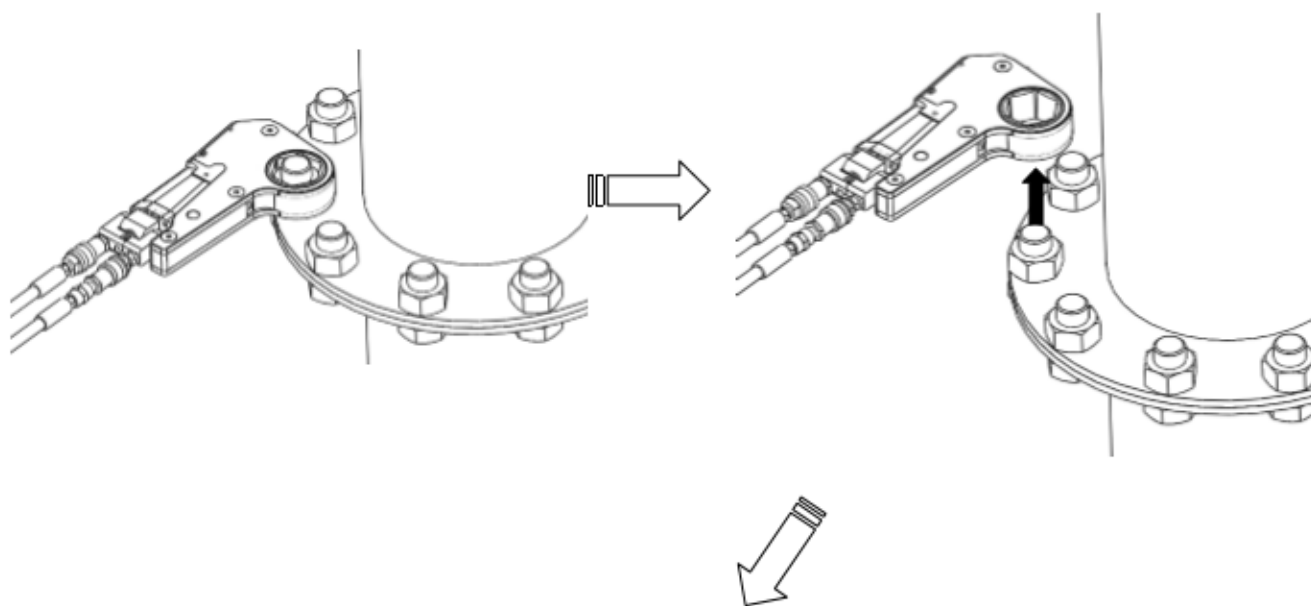
M100

電源ボタンを押しポンプのモーターを停止させます。



DYNANIC

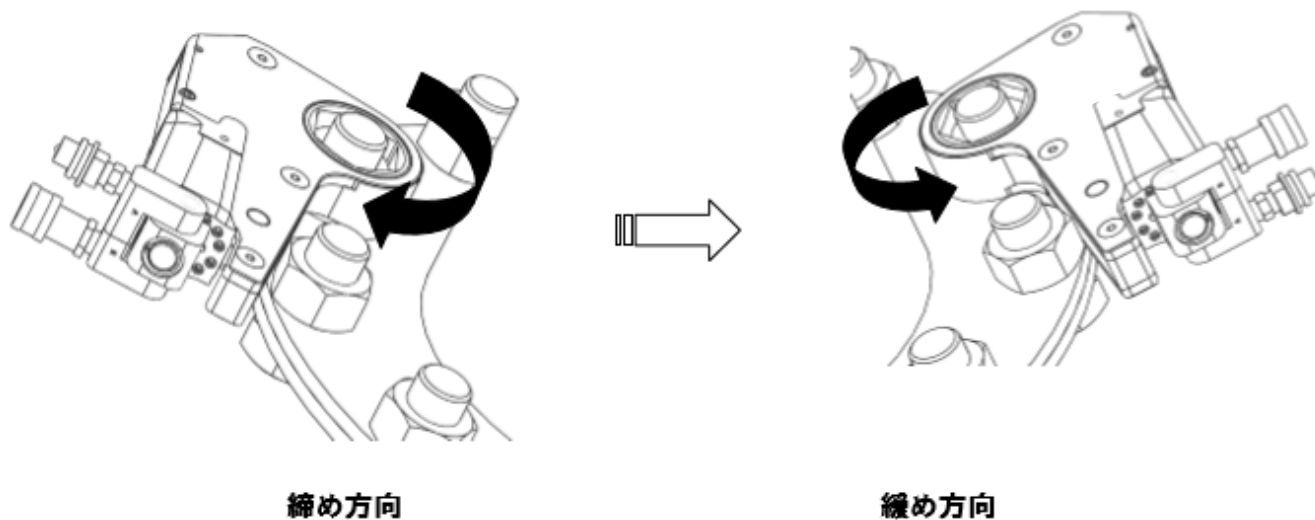
- 油圧トルクレンチを作業するアプリケーションから外してください。



5.1 作業手順【締め作業】に従い次のボルト・ナット作業を行ってください。

2 作業手順【緩め作業】

- 油圧トルクレンチ本体の方向を反転させてください。



- 油圧トルクレンチを作業するアプリケーションに設置してください。
- 【締め作業】の操作①と②に従いボルト・ナット作業（締め）を実施してください。
- ナットが緩んだらコントローラーの操作で油圧ポンプの電源を切ります。
- 油圧トルクレンチを作業するアプリケーションから外してください。

《注意事項》

※緩め作業は、場合により締め作業の2倍近くのトルクが必要になる場合があります。

実際にナットが緩まない場合は、油圧トルクレンチの現状のサイズより大きいサイズに変更してください。

無理に作業を続けると、故障、トラブルの原因になります。

※締め作業手順に従って作業を実施してください。

3 ギヤロックの解除方法

- 締付作業中に内部ギヤがロックし反力が外れなくなる事があります。
内部ギヤがロックした場合は下記の手順で解除する事ができます。

動作ボタンを押し続け圧を掛けた状態にしてください。

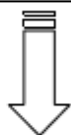


M100

DYNANIC



圧を掛けた状態でラチェットリンクのレバーを押し込んでください。



レバーが押し込まれた状態でコントローラーの動作ボタンを離すとギヤロックが解除されます。



現場用トラブルシューティング

トラブル内容	トラブル要因	トラブル対処	確認箇所
圧力計は動いているが、レンチが全然動かない。	カプラが確実に接続されていない為 オイルが循環していない。	カプラの接続部を確認してください。	<p>× 隙間あり</p>  
カプラが閉まりきらずカプラの間に隙間が空きレンチが正常に動作しない。	どこかに内圧がかかっている。 カプラ中央のボールを指で押してボールが動かないところに内圧がかかっています。	内圧がかかっているカプラを緩めて下さい。 オイルが出たらボールが指で動くのを確認しカプラを締め直してください。	<p>ココを指で押す</p> 
シリンダーは作動するがスピードが遅い。	作業環境や長時間の連続運転によりオイルの温度上昇が考えられます。 適正油温：55℃以下	休ませながら使用するか、水トレイを用意しオイルタンクを冷却しながらご使用ください。	
モーターの動作が弱々しい。	油圧ポンプの供給電圧の不足が考えられます。	ポンプの規定電圧が得られるように電源電圧・延長コードの長さ等を確認してください。	
規定トルクで締めたがレンチが取れなくなった。 センターホールタイプ：LOW	レンチ内部の逆転止め爪が引っ掛かっている。	再度圧力をかけ高圧がかかった状態でラチェットリンク前のレバーを押しレバーが下がったらスイッチを離し低圧に切り替える。	

※不具合が改善されない場合はご連絡ください。

JIRO

ジロー株式会社

〒550-0013

本社 大阪市西区新町4丁目1番1号

TEL 06-6541-5496 FAX 06-6541-3500

岩手	TEL 0197-61-0881	名古屋	TEL 052-363-2061
埼玉	TEL 048-291-3232	広島	TEL 082-292-1466
神奈川	TEL 044-270-3581	北九州	TEL 093-661-0990
静岡	TEL 0545-53-2117	福岡	TEL 092-503-1051
札幌	TEL 011-818-7065		